

化学工学会第 51回秋季大会 結晶化現象および晶析操作の新展開 報告書

オーガナイザー

土岐規仁(岩手大学)

日野智道(三菱ケミカル株式会社)

船越邦夫(鈴鹿高専)(文責)

2020 年 9 月 24～26 日にオンラインで開催された化学工学会第 51回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 25 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 24 日 9:00～17:40 20 件(展望講演 1 件、招待講演 2 件を含む) 9 月 25 日 13:00～15:00 5 件(招待講演 1 件、優秀論文賞 1 件を含む)
会場	オンライン
聴講者数	49 名
展望講演	『高品質な結晶粒子群製造のための晶析操作設計の展開』滝山博志氏(東京農工大学)
招待講演	『高分解光学顕微鏡で見る氷結晶の表面融解』佐崎元氏(北海道大学) 『巨大タンパク質会合体ヘモニアニンの結晶中の空隙への生体分子の包摂』田中良和氏(東北大学) 『PAT ツールを活用した晶析プロセス解析事例紹介』瀬尾究氏(富士フイルム和光純薬株式会社)
優秀論文賞	『Effect of Two Kinds of Supersaturation on Crystal Qualities during Cocrystallization』西丸萌々子氏(中外製薬株式会社)、工藤翔慈氏(群馬工業高等専門学校)、滝山博志氏(東京農工大学)

以上